



佐伯地区医師会  
辻徹郎先生

## アレルギーは治る？ 治らない？

人間には、自己以外の成分を異物として認識し、排除する免疫機構が存在します。風邪のウイルスなど、体に害を及ぼすものに作用する必要があり、その名の通り「疫（病い）」を「免れる」働きをします。

一方、自己以外の成分であっても体に必要なものや無害なものに対しては反応しない、「免

疫寛容」といった側面も持ち合せていなければなりません。アレルギーは、この免疫寛容がうまく働かず、本来は体にとって無害であるはずの食物などを異物として認識してしまう状態です。

免疫に関わる細胞であるリンパ球には、感染を防ぐことに関わる「T<sub>H</sub>1細胞」、アレルギー反応に関わる「T<sub>H</sub>2細

胞」という2種類の細胞があります。アレルギー体質とは、この2つの細胞の働きのバランスがT<sub>H</sub>2型に偏った状態です。アレルギー疾患の治療薬にはこの偏った免疫バランスを元に戻す作用は無いため、「薬」ではアレルギーを「治す」ことはできません。ただし、食物アレルギーなどは成長とともに自然によくなる人も多くいます。

近年食物アレルギーや花粉症の治療として、免疫療法というものも普及しつつあります。

免疫療法の歴史は古く、その始まりは1911年にまでさかのぼります。治療内容を一言で言い表すならば、「毒を持って毒を制す」という表現がぴったりです。すなわち、その人にとってアレルギーの原因となる物質（アレルゲン）を少しずつ体を与えることにより、偏った免疫バランスを直す方法です。例えば卵アレルギーの患者さんの場合、アレルギー症状を引き起こす摂取量（閾値）の10分の1くらいの量から摂取を開始し、症状が出なければ少しずつ摂取量を増やしていきます。

食物アレルギー以外では、スギ花粉症の患者さんに対して、スギ花粉のエキスを注射や舌下に投与する免疫療法が行われて

なるほど

# 健康講座

佐伯地区医師会ホームページ  
<http://saikima.jp/>

問合せ 健康推進課 ☎1610

### 佐伯地区医師会

佐伯地区医師会は、廿日市市・江田島市で開業または勤務している医師 304名（平成26年6月末現在）で構成されている地区医師会です。日本医師会や広島県医師会と協力しながら、地域に密着した医師会として約30万人の地域住民の健康を守るため、学校医、産業医、健診、救急医療、在宅医療など、さまざまな仕事をこなしています。